

□主人公・悠人が出会った中二の女の子・朱音はヤングケアラーです。ヤングケアラーとは、18歳未満で

家事や家族の世話、介護などをする人のことです。(https://www.mhlw.go.jp/stf/young-carer.html)

□私は「ヤングケアラー」について、知りませんでした / 言葉だけは聞いたことがあります / ニュースを

見たことがあります / まったく考えたこともありませんでした / この本を読んではじめて知りました。

□もし私が家族のために朱音のような生活をすることを考えると、

と感じました。/ 思いました。

なぜなら、

だからです。

□私は知らないだけで、身のまわりにもこの問題でこまっている人、日常の生活ができない人、希望が持てずに

いる人がいるのだと知りました。もし私が朱音の友だちで相談を受けたなら、

すると思います / できないかもしれません / と考えると思います。

なぜなら

だからです。

□私は登場人物の中で、○○○○○が 共感できました / 気に入りました / 自分に似ているなと思いました。

なぜなら

だからです。

□でも、 なところは 少し苦手です / 理解できません / 私とは違うなと思いました。

□悠人 / 朱音 のまわりの人たちは

だと思います。

もし私が悠人 / 朱音 の友だちなら

と感じました / 思いました。

□私は一番 好きな / ドキドキした / ひきこまれた / 感動した 場面は

で、 共感できました / 好きになりました / スカッとした / 印象的だった / ジーンとしました。

なぜなら

だからです。

□私が悠人 / 朱音 の 行動 / 考え方 / 言ったこと で 違和感を感じた / おどろいた / 悲しくなった 場面は、

です。

というところが、私には 理解できなかった / 共感できた / ショックでした。

□私と悠人 / 朱音の 生活 / 考え方 / 感覚 / 境遇 は

だと思います。

□その点でも、私と悠人 / 朱音は、

と感じました / 思いました。

□私も【誰かに助けをもとめられた出来事 / 誰かをサポートした体験 / 助けてと言えない人に気づいた体験】

①状況の説明：いつ・どこで・だれが / だれに ②行動：きっかけ / 理由・何を・どうした・どのように /

どのくらい・なぜ / どうして③状況 / 心の変化：どうなったのか、どう思ったのか、何が変わったか

ということがありました。そのこと / 体験から、（誰かと助け合うことは / みんなと協力すれば一人でできないことも / 声を上げられない人に気づいてあげることは / 一人で悩んでいても解決できないことも）

だとしました / という気持ちがわかります。

□もし、身近に朱音のような人がいたら、私はどう接したらいいのか

だと、あらためて / 強く / 心から / 深く / 具体的に 考え / 思い / 認識し / 理解しました。

なぜなら

だからです。

□もし、自らが朱音の立場になったら、誰かに助けを求められるだろうか？ / 家族のために協力できるだろうか？

きっと

だと思います。

□私も【ピンチのときに冷静に考えて行動できた・できなかった出来事 / 自分が大変・こまっていることを

素直にまわりに伝えられなかつた出来事 / 自分さえがんばればいいと思って「助けて」と言えなかつた体験】

①状況の説明、②行動 ③状況 / 心の変化

ということがありました。

その経験 / 出来事から、（冷静な判断と行動 / 自分一人でできないことは誰かに頼る / 一人でかかえこまないで

解決策をみんなで考える / 人とのつながりや気持ちを伝えることも大切）

だとしました。

□この本を読むまでは、「ヤングケアラー」について他人事のように考えていた / 深く考えたことがなかった

けれど、

ということを知りました / 考えました。

□朱音のような人々は、一部の家族 / 特殊な例 だけの問題でなく、これからの日本で / 高齢化社会で

とても身近な問題 / 解決しなくてはいけない問題 / 重要な課題 / みんなで考える必要があること だとしました。

□この物語の後、悠人と朱音は

だったらしいな / なって欲しいな / するのではないか と思いました。

□私はこの物語 / 本を読んで、

ということを 考えました / 学びました / 理解することができました。

□これからは、福祉や介護のニュース / 高齢化の問題 について、広い視野で / 好奇心をもって / どうしたら

解決できるか考えながら / 人ごとだと考えずに 接していく / 考えていきたい / 学びたい と思います。